

令和6年度 旧本郷第一小跡地公園整備計画 第2回町民懇談会

■日時・場所

令和6年12月19日（木） 18：30～20：30

本郷生涯学習センター 大会議室

■参加者

10名

■事務局

6名

■開催概要

令和6年度の活動の「中間報告会」として、第1回以降の活動状況、整備計画および管理運営方法の検討状況について報告・説明し、質疑応答を行った。

■スケジュール

時間	実施内容
18：30～	1. 開会 2. あいさつ 3. 職員紹介
18：33～	4. 第1回質問への対応状況の報告
19：35～	5. 前回以降の活動状況の報告 1) 実施スケジュール 2) 実証ワークショップについて 3) アンケート調査結果（子ども）について
19：15～	6. 整備計画の検討状況について 7. 管理運営方法の検討状況について
20：20～	8. 今後の予定
20：30	9. 閉会

■内容

1. 開会
2. あいさつ
3. 職員紹介
4. 第1回質問への対応状況の報告

事務局より説明。

- ・メタセコイヤについては、今年度内に樹木医による診断を行う。

5. 前回以降の活動状況の報告

1) 実施スケジュール

2) 実証ワークショップについて

3) アンケート調査結果（子ども）について

- 1) ～ 3) について事務局より説明。質疑応答の概要は以下の通り。

○質問者

- ・11/17 のほんごうパークフェスは人がたくさんいて活性化した一日だった。
- ・ミサトベースを利用している子どもも 15-16 名くらいであり、子どもを中心とした利活用だけでは大変なので、例えばジョギングや散歩など高齢者でも利用できるようにした方が良い。
- ・風の子公園では子どもが遊んでいるが、住宅地が近いためである。跡地周辺には子どもは少ない。また、中学生は部活が始まると遊ばない。
- ・日本一人口が少ないとある村では、道の駅により観光客が 1 万人来ているという。
- ・かつて本郷では水路を整備し、ボランティアにより維持管理していた。しかし、ボランティアがなくなったら荒れ放題になった。なかなか長続きしない。
- ・イベント等を開催して人集めをするのか、道の駅のような施設で継続的に人を呼び込むのか。
- ・風の子公園での遊ぶ様子を見ていると、子どもたちは遊具を工夫して遊んでいる。そのような遊びの場と共に、高齢者が散歩できる場所にしてほしい。

○事務局(町)

- ・散歩できる施設は設けたい。
- ・イベントがない時に、いかに人が集まる施設にするかを考えていきたい。

○質問者

- ・本郷一小が閉校してから 12 年、町民参加で検討を始めてから 7-8 年、一般の町民からは全く進んでないと思われる。
- ・今は利用できるが、柵が壊れていたり、入りにくいのは良くない。
- ・散歩道をぜひつくってほしい。アンケート結果に出ていた意見をひとつでも反映してほしい。
- ・町民から見て、変わったなと分かる、進捗が目に見えるような公園にすぐにしてほしい。

○事務局（町）

- ・少しでもそのように対応できるよう進めていきたい。

○質問者

- ・できるところから、町民を巻き込んでやることはないか、という考えが大事。
- ・例えば、実施計画の整備イメージ図には桜並木があるが、樹木医の診断を待つまでもなく古木であり、管理に支障が出るものと思われる。次の樹を植えるのであれば、植樹をみんなに呼び掛けてやれば、

具体的な形を見せることができるのではないか。苗木はお金もかからない。みんなが参加して変化を共有することが重要。

○事務局（町）

- ・跡地周辺は道路拡幅を予定している。桜は根が横に張る習性があるとのことで、道路を持ち上げる可能性がある。現在測量中だが、公園整備とあわせた道路整備が必要と考えている。皆さんの要望も合わせて今後検討を進めていきたい。

6. 整備計画の検討状況について

7. 管理運営方法の検討状況について

6～7について事務局より説明。質疑応答の概要は以下の通り。

○質問者

- ・瀬戸町地区には集会所がない。あったとしても、会議室で飲んだり食べたりできないのでは不便。こういうところも取り入れて頂かないと、地元としては使い勝手が悪い。
- ・東京の区民会館などは飲み食いできた。そのようなみんなで楽しめる施設が良い。
- ・整備費や維持管理費は補助金や町の予算でまかなえるのか。指定管理者の利用料収入なども想定しているのか。
- ・只見駅前のコンテナ店舗のように、仮設の建物でも良いかもしれない。予算が掛からない方がよい。

○事務局（町）

- ・都市公園を整備するための直接的な補助は要件の問題から得られないため、あらゆる角度から施設整備で受けられる補助を検討していきたい。
- ・管理運営する上で利用料を徴収するかどうかは、今後の検討課題である。管理運営については、今後皆様と勉強しながら検討していきたい。

○質問者

- ・整備計画はよくまとめたと思うが、盛沢山で内容について今すぐに判断できない。
- ・このような機能が全てあれば素晴らしいが、こんなに盛り込んで大丈夫か、無理がないか、というのが第一印象。
- ・他の施設との住み分けは当然考えていく必要がある。会議室は多少必要かもしれないが、生涯学習センターにもある。先ほど意見のあった飲食できる会議室は確かにあると嬉しいが、それまでここに落とし込んでいいのかどうか。
- ・改めて、最終のパブコメの前に町民の意見を直接聞いた方がよい。

○事務局（町）

- ・あらゆるものが詰め込まれている案となっている。ひとつの部屋でいろいろなことができるようにできたらと考えている。例えば、多目的ルームでは昔遊びなどもできると思われ、他の部屋も模様替えしながら皆様のニーズに対応できるのかと思う。みなさんの意見を取り入れながら、整理して計画していきたい。

○事務局（コンサル）

- ・規模については、ヒアリングの意見をそのまま素直に反映してみたというもの。実は兼用できるスペースもあるので、今後必要性を検証していく必要がある。

○質問者

- ・できるだけ、みなさんの声を組み入れてとのことだが、意見を聞くのはもうひと区切りしていいのではないか。色んな要望に対応するとがんじがらめとなり、空間も窮屈になるのではないか。色んな要望が出たが、この場所でなければというものだけに絞り込む必要がある。
- ・お金については、正攻法だけでなく、知恵を巡らせて国からお金をとってきてほしい。ある町の400mトラックは多目的広場の整備として国からお金を取ってきた。8レーンつくと競技場だが、6レーンだと多目的と言える。隣の野球場もスタンドを作らないで、多目的広場と位置付けている。よりいいものを作ってほしい。

○事務局（町）

- ・補助金や交付金等については、あらゆる角度から模索しているところである。国のお金は必要なので、そのように努力していきたい。
- ・施設については、現状の案はあらゆるものを反映している状況なので、ある程度シェイプアップが必要と考えている。

○質問者

- ・植栽計画については、メタセコイヤの診断結果が出たら、桜も含めて整備計画にどのように落としこまれていくのかが気になる。20年後の姿を思い描くのは素人に難しいので、専門家の考えが必要。現在のシンボルツリーのある空間イメージは重要だと思う。

○事務局（町）

- ・今現在のメタセコイヤがどのような状態か、いっさい付度なしで樹木医に診断を仰ぐ予定。生きられる場合は保護し、危険な場合は伐採するしかない。伐採の場合は、挿し木の可能性もあり、年数はかかるが復活させたいと思う。
- ・桜については、先ほどのご意見のように、みなさんで植栽することもありうると考えている。
- ・樹木医の診断結果が年度内なので、整備計画に盛り込むのは不可能と思われるため、基本設計に盛り込んでいきたい。

○質問者

- ・南側町有地はどのタイミングで整備するのか。

○事務局（町）

- ・今回の整備計画の中で具体的に盛り込んでいきたい。アンケート結果ではバスケットボールコートの子ニーズが高いので設けたいと考えている。また、バスケットボールコートの中で、ドッジボールやキャッチボールなど、他の利用も可能と考えている。

○質問者

- ・南側町有地の隣に予定している建物（屋内、半屋外）にはバスケットボールコートがない。雨の日に、利用が想定されるクラブの方から、なぜ室内でできないのかと思われるかもしれない。室内スペースにバスケットボールが入り込む余地があるのではないか。

○事務局（町）

- ・可動式の設備で対応できるかと思う。

○質問者

- ・可動式のものを室内に設置できるのであれば、南側町有地ありきではなくてもよいかも。敷地の関係で、有料にできる/できないなどの問題もあるかもしれないので、室内に設けることでクリアできることもあるかもしれない。
- ・バスケットボールのクラブチームに入っている方が試合や練習で使用すれば、よく利用されると思うので、そういう方の意見を聞いてみると良い。
- ・町有地で駐車場共有の考え方は良いが、バスケットボールがしにくいかもしれないので、当事者に意見を聞いた方がよい。その結果、室内の方がよい場合もあるかもしれない。

○事務局（町）

- ・南側町有地については、これを含め全体の測量が終わったところ。道路の位置に影響されずに、道路の位置を変えることも含めて検討し、土地を有効に使っていきたいと考えている。

○質問者

- ・歳の神はできたらいいと思うが、飛び火が心配。
- ・じゃぶじゃぶ池はアンケートでも要望はあるが、バスケットボールより優先度は低いのではないかと。水を利用するので、ランニングコストが大きくなる可能性が高い。遊具や小山などに比べてマストなものではないと思う。

○事務局（コンサル）

- ・歳の神については、1月に跡地で実施するとのことなので、当日火の状況等を確認させて頂く予定。
- ・じゃぶじゃぶ池はこれまでの調査結果でも要望の多いものだった。

○質問者

- ・じゃぶじゃぶ池の実証実験としてイベント運営にも参加してみて感じたことだが、水遊びはイベントで実施できれば良いと思う。恒常的な施設が必要かどうか。今回の資料でも、「きれいで安全だったら使いたい」との意見があるが、きれいではない場合や人がいない場合などは厳しいだろう。

○事務局（コンサル）

- ・管理の問題もあわせて検討する必要がある。

○事務局（町）

- ・夏に実施したじゃぶじゃぶ池のイベントも好評で、すべり台などで楽しく遊んで頂いたので、それも含めて設けられればと考えているところである。

○質問者

- ・じゃぶじゃぶ池で一番の問題は衛生管理。また、防災の観点から、水道がダメになった時に備えて井戸から水を汲めるようにしてはどうか。さらに他の事例によると、モーターで汲み上げるのではなく、昔ながらの手押しポンプが良いとのこと。じゃぶじゃぶ池でも、その汲み上げた水を使用すれば衛生管理も問題ないだろう。衛生的には川の水を引いてくるわけにはいかない。

○事務局（町）

- ・水道水を想定している。本郷地区は地下水が深く、なかなか出ない。他の地区でも井戸はほとんど使用されていない状況。川原町周辺の浸水対策の一環でボーリング調査を実施しているが、なかなか水が出なくて苦慮しているところ。逆に浸透させるのは良さそうだが、地下水を掘り出すには難儀しそう。衛生的には水道水が良いと考えている。

8. 今後の予定

○参加者

- ・跡地の実証ワークショップ（町民活動サポートモニター企画）として、1/11～14 に「フユノヨテラス・ホンゴウ」と題し、歳の神にあわせてイルミネーションを開催予定。Hongo Park Fan メンバーによる企画。自宅にあるイルミネーションやドラム式コードがあればお借りしたいのでご協力頂きたい。商工会やミサトベースにも協力頂く予定。日時や内容の詳細は回覧でご案内する予定。

○事務局（コンサル）

- ・ほんごうボックスの活用アイデアを募集しているので、ぜひ提案頂きたい。

○事務局（町）

- ・第3回町民懇談会は2月中旬頃実施予定。本日のご意見を踏まえ、開催時期についてはあらためて検討する。
- ・パブリックコメントは2月下旬～3月下旬に実施予定。

9. 閉会

以上